

朝日プリンテックデータ入稿マニュアル

新聞

Web To Print

FM Screening

APrint Digital 第5版

CTP

パノラマ

ちらし

Color Management



朝日プリンテック

Asahi Printech

CONTENTS

制作

- データ作成時の注意事項・・・・・・・・・・ 1
- データ作成のポイント・・・・・・・・・・ 2
- 画像データの作成・・・・・・・・・・ 3～8
- イラスト・レイアウトデータの作成・・・・ 9～13
- 入稿用データ（PDF）の作成・・・・・・・・ 14～24

入稿

- 原稿制作から入稿まで・・・・・・・・・・ 25
- Web入稿システム・・・・・・・・・・ 26

規格

- 印刷仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27～31

入稿データの形式

入稿データは、PDF/X-1a 形式・PDF/X-4 形式・1bitTIFF となります。Adobe 社をはじめとしたソフトメーカーが提供するアプリケーションソフトのネイティブ形式（psd や ai など）での入稿は受け付けていませんので、ご注意ください。

※ 1bitTIFF での入稿の場合には、弊社営業担当者までご相談ください。

入稿データのサイズ

入稿は、基本的にインターネット回線を通じて行って頂きますので、1 データあたり 600MB を超えないようご注意ください。

スクリーニング

カラー原稿は FM スクリーン、AM スクリーン（140 線）、モノクロ原稿は、FM スクリーン、AM スクリーン（85 線・100 線・140 線）が選択できます。

弊社では、FM スクリーンの使用を推奨しています。弊社で使用できるスクリーニングについては、右表を参照してください。

FM スクリーン設定

	モノクロ	カラー
最小網点の大きさ	21 μm	
CTP 解像度	1200dpi	

AM スクリーン設定

	モノクロ	カラー
スクリーン線数	85lpi/100lpi /140lpi	140lpi
スクリーン角度	45°	C15° /M75° Y0° /K45°
CTP 解像度	1200dpi	

弊社への入稿データの推奨制作環境

Mac

OS	MacOS X (10.13 High Sierra) ~
Adobe Photoshop	CC (14.0) ~
Adobe Illustrator	CC (17.0) ~
Adobe InDesign	CC (9.X) ~
Adobe Acrobat	DC (15.X) ~

Windows

OS	Windows 8.1 ~
Adobe Photoshop	CC (14.0) ~
Adobe Illustrator	CC (17.0) ~
Adobe InDesign	CC (9.X) ~
Adobe Acrobat	DC (15.X) ~

※上記の制作環境にあてはまらない場合には、弊社営業担当者までご相談ください。また、上記の制作環境で制作したデータでも、適切なデータとして保証するものではありません。

※各 OS・アプリケーションについては、メーカーよりアップデートが配布されている場合があります。詳しくは、各メーカーにお問い合わせください。

※ PDF/X-4 形式で入稿される場合には、Photoshop・Illustrator・InDesign は、CS3 以上が必要です。

ブランケット版・タブロイド版データの作成

アートボードやページ外の不要なオブジェクトや孤立点、アタリ用に作成したガイドなどは、RIP 時のトラブルの元になるため、必ず削除する。

不要な文字

原稿サイズとアートボード・ページサイズを完全に一致させ、ずれないように確認する。(アタリ用の罫やガイドは必ず削除する)

この画像は説明用のイメージ図です

世界に誇る印刷品質

写真などの画像データは、カラーの場合には RGB (PDF/X-4 入稿のみ) または CMYK に、モノクロの場合にはグレースケールに変換し、Lab モードは使用しない。解像度は、必要以上に高い解像度を使用せず、適切な数値を設定する。オブジェクトと同様インキの総使用量は 260% を超えないようにする。

Illustrator、InDesign で作成したオブジェクトの色の指定には、CMYK を使用する。
4 色のインキの総使用量が 260% を超えないように注意する。

この画像は、入稿データ作成でデュアル用の画像です。お客様のご利用をお待ちしております。



特殊なフォントは、極力、アウトライン化する。

レイヤーなどで画像を重ねてデータを作成している場合には、重ね順に注意し、1 枚のレイヤー上に統合する。

画像の上に文字を配置している場合などは、オーバープリントの設定に注意する。

画像データの作成には、Adobe 社の Photoshop CC を推奨します。これ以前のバージョンで作成された場合には、入稿の際に担当者へご連絡をお願いします。

●新聞輪転機での印刷に適した画像データ

新聞輪転機の印刷に使用する画像データは、カラーモードやファイル形式などに注意が必要です。指定以外のファイル形式を使用した場合、RIP 時のエラーの原因となります。また、弊社へは、インターネット回線を通じて入稿して頂きますので、画像内の不要な部分はトリミングし、必要以上に高い解像度の設定は避けてください。データ容量の肥大化は、ワークフロー上でのエラーにもつながります。

●カラー画像

印刷データに使用するカラー画像は基本的に RGB モード（PDF/X-4 入稿の場合）または CMYK モードとし、Lab モードは使用しないでください。また、使用するインキの総使用量（CMYK 各インキが最も多く重なっている部分の総インキ量：UCR といいます）が、260%を超えないように設定します。数値がこれよりも多くなると、印刷品質を決定するトラッピング適性が悪くなりますので、注意が必要です。

RGB 画像を印刷データとして使用する場合には、適切な設定にて CMYK モードへの変換を行う必要があります。PDF/X-4 形式にて弊社へ入稿される場合には、弊社の RIP で変換は可能ですが、Adobe RGB を使用した場合など色域が広い場合には、色味が変わってしまう場合もあります。

CMYK データを入稿される場合で、新聞用のプロファイルをお持ちの場合には、該当のプロファイルを使用して頂き、お持ちで無い場合には、下記設定にて、インキの総使用量を 260% に制限してください。

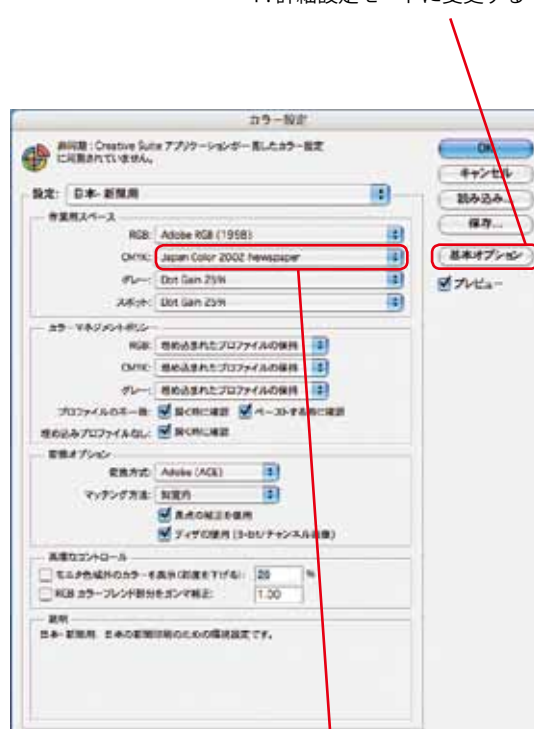
または、Photoshop に付属している「Japan Color 2002 Newspaper」という CMYK プロファイルを使用すると総インキ使用量を 240% に制限することができます。

上記の設定については、印刷上のトラブルを回避するためのもので、適切な色味を保証するものではありません。

☆カスタム CMYK の設定方法

1. 「編集」メニューから「カラー設定」を開き、詳細オプションをクリック
2. 作業用スペースの「CMYK」プルダウンメニューから「カスタム CMYK」を選択
3. 各設定値を下記のように設定する
「印刷インキ設定」
インキの色特性：SWOP（新聞紙）
ドットゲイン：標準 25%

1. 詳細設定モードに変更する



2. 作業スペースの CMYK を「カスタム CMYK」に設定する



3. カスタム CMYK を設定

「色分解オプション」

色分解の種類：UCR

墨インキの制限：90%

インキの総使用量の制限：260%

☆「Japan Color 2002 Newspaper」の設定方法

1. 「編集」メニューから「カラー設定」を開き、「設定」から「日本 - 新聞用」を選択
2. 作業用スペースが以下の設定であることを確認する。
「作業用スペース」
RGB：Adobe RGB (1998)
CMYK：Japan Color 2002 Newspaper
グレー：Dot Gain 25%
「カラーマネジメントポリシー」
制作環境に合わせて設定する。
「変換オプション」
変換方式：Adobe (ACE)
マッチング方法：知覚的
3. 当該画像の RGB プロファイルが別のプロファイルの場合には、適切な RGB 作業用スペースを選択する。

例) 色空間が sRGB のデジタルカメラで撮影した写真等を使用する場合
作業用スペースの「RGB」プルダウンメニューから「sRGB IEC61966-2.1」を選択する
※この設定は、保存して次回以降、使用することができます。

設定：「日本 - 新聞用」に変更



適切な RGB プロファイルに変更

保存する場合は、ここをクリック

●画像解像度の設定

新聞印刷に使用する画像の適正解像度は、250～300dpi 程度です。解像度が低すぎる場合には、良好な印刷ができない場合があります。

入稿データに使用する画像データの解像度は、Photoshop などのフォトタッチソフトで、使用するサイズ・解像度へ変更してください。

後述するレイアウトソフト (Illustrator や InDesign など) を使用して、極端な拡大・縮小を行うと、解像度の不足や入稿データ肥大化の原因となりますので、注意が必要です。

☆画像解像度の変更方法

1. 「イメージ」メニューから「画像解像度」を選択
2. 画像の状態によって、適切に設定を行います。
解像度が低く、サイズが大きい場合には、以下のように変換を行います。
「画像の再サンプル」のチェックを外し、解像度を目標とする解像度へ変換します。

基本的には、原寸大で適切な解像度になるように設定する



再サンプルのチェックの有無・変更量は、注意が必要です

結果として、サイズが大きくなった場合には、「画像の再サンプル」にチェックを入れて、適切なサイズへ変更します。

※画像の再サンプルのチェックを入れて、解像度やサイズの数値を増やすと Photoshop が各画素間の補間を行います。極端な増加は、画像の「ボケ」の原因となりますので、増やす場合には、1.5 倍程度に留めてください。

3. 画像の再サンプルのオプション内容の概要は、以下の通りです。必ずしも適切な結果となることを保証するものではありませんので、必ず確認をお願いします。

- ニアレストネイバー法

”ニアレストネイバー”=”最も近いお隣さん”の言葉通り、新たに生成する画素は最近隣の画素の値がコピーされて生成されます。二値画像の変換に適しています。

- バイリニア法

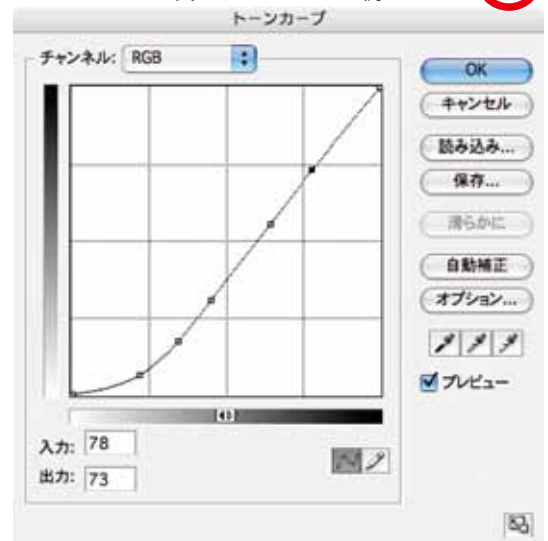
ニアレストネイバー法と後述するバイキュービック法の中間の精度・計算スピードの補間方法です。「線形補間」とも呼ばれ、周囲の画素の平均値から生成する画素の値を決定します。

- バイキュービック法

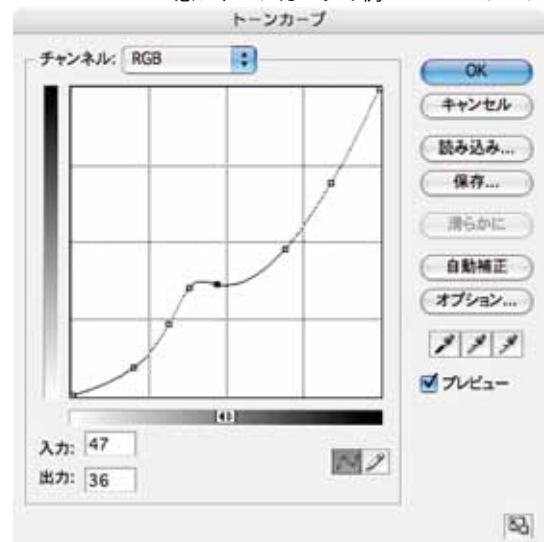
3つの中で最も精度の高い変換方式です。計算には最も時間が掛かりますが、現在の PC の性能であれば、ほぼ問題ないのレベルです。自然画像を扱う場合には、通常この設定を使用します。

ただし、シャープネスが適用された場合と同じような結果になることがあるため、イラスト調の画像などでは、バイリニア法が適している場合があります。

良いトーンカーブの例



悪いトーンカーブの例



●カラー画像をレタッチする際のポイント

☆トーンカーブでの画像の調整

Photoshop を使用して画像の階調を調整する際には、トーンジャンプが発生しないように、注意が必要です。

右図の良いトーンカーブの例では、階調の変化が滑らかになっていますが、悪い例では、極端な変化が発生しており、トーンジャンプの要因となります。

☆人肌の網点%に注意する

ポートレート写真（特に日本人女性の人肌）では、CMYK 変換した後の網点 % をチェックし、墨が入らないようにレタッチを行います。新聞印刷では、特に墨が入ると濁りが生じて、墨っぽい仕上がりとなってしまいます。

☆色被りを取り除いておく

印刷データに使用する画像データでは、撮影時の光源の影響で、色被りが生じている場合があります。レイアウトソフトへの配置の前には、Photoshop で必ず色被りを取り除いてください。

☆ハイライト側の白色に注意する

雪などのハイライト側の白色では、変換後の網点%に注意してください。図柄にもよりますが、墨は入りません。1つの例として、網点%は $C > M \geq Y$ となることが多いようです。CMYの3色を等量にすると、赤黄味がかかったグレーになってしまうので、注意が必要です。

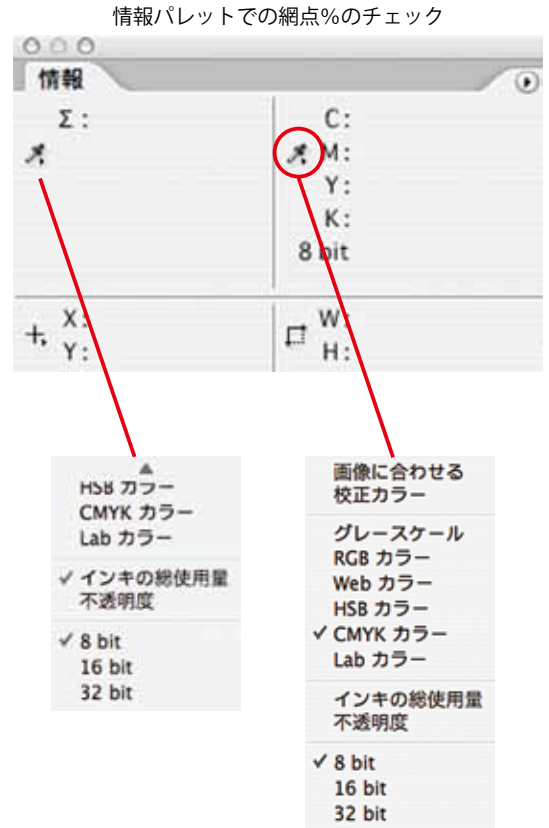
☆グレーバランスに注意する

印刷の入稿データとして、CMYK に色分解した後のグレーバランスは、非常に重要です。一般的な傾向として、 $C \gg M \geq Y$ となります。比率は、ライト側・中間・シャドウ側で異なります。

☆変換前後の網点%のチェック方法

「ウインドウ」メニューの「情報」を選択すると、右図のような情報パレットが表示されます。それぞれの表示オプションから表示する内容を選択できますが、左側を「RGB カラー」または「インキの総使用量」を選択し、右側に「CMYK カラー」を選択すると変換結果が分かりやすくなります。

なお、変換結果として表示される CMYK 値は、カラー設定で指定された色変換プロファイルに依存します。



●グレースケール画像

グレースケール画像を使用する場合の注意点は、カラー画像と基本的に同様です。

前述のカラー設定で「作業用スペース」のグレーが「Dot gain 25%」に設定されていることを確認してください。画像解像度の設定や再サンプルの設定は同様です。

●モノクロ2値画像

モノクロ画像でのロゴの使用や独自のスクリーンを使用したい場合には、モノクロ2値画像を使用します。その場合には、使用するサイズ（原寸）での解像度を1200dpiに設定してください。（製版に使用するCTPの描画解像度が1200dpiのためです）

特に1200dpi以上の高解像度で作成した場合には、細線やイラストのエッジなどが正常に印刷されない場合があります。また、独自のスクリーンを使用する際は、「プリント」ダイアログ内の「ハーフトーンスクリーン」設定は使用しないでください。

●ファイルの保存

画像ファイルの保存時には、以下に記載した点に注意してください。

☆プロファイルの埋め込み

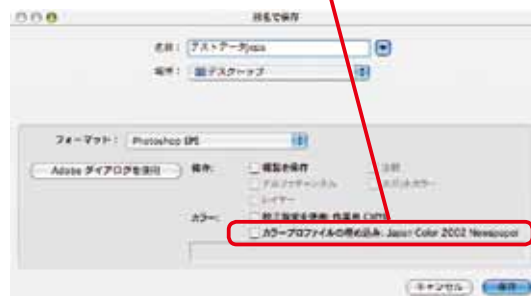
CMYKに変更した入稿用の画像データに色変換プロファイルが埋め込まれていると、色変換のトラブルが起こりま
す。プロファイルは埋め込まずに保存してください。

※ PDF/X-4 を入稿される場合で使用した画像が RGB データの場合には、必ず使用している RGB プロファイル (sRGB・Adobe RGB など) を埋め込んでください。

☆プロファイルを埋め込まずに保存するには

保存時のダイアログボックスの「カラー」欄の「カラープロファイルの埋め込み：(プロファイル名)」にチェックが入っていないことを確認します。チェックが入っている場合には、必ずチェックを外して保存します。

チェックが入っていない事を確認



☆保存時のオプション (PDF/X-1a 入稿)

画像データを保存する際には、レイヤーは統合し、不要なアルファチャンネルは削除します。カラーモードは、CMYK または グレースケールモードに変更し、ファイル形式は、EPS または TIFF を選択します。

☆ EPS の保存オプション

・カラー画像・グレースケール画像

「プレビュー」：「TIFF (8bit/pixel)」

「エンコーディング」：「ASCII85」「ASCII」

「JPEG- 最高画質 (低圧縮率)」

以下のチェックボックスのチェックを全て外す

「ハーフトーンスクリーンを含める」

「トランスファ関数を含める」

「ポストスクリプトカラーマネジメント」

「画像補間方式」

・モノクロ 2 値画像

「プレビュー」：「TIFF (1bit/pixel)」

「エンコーディング」：「ASCII85」「ASCII」

「白色部分を透明として扱う」：チェックを入れる

「画像補間方式」：チェックを外す



プレビュー・エンコーディングに注意



「白色部分を透明として扱う」にチェック

☆ TIFF の保存オプション

TIFF 形式で保存する際には、以下の各オプションを設定します。

「画像圧縮」：「なし」または「LZW」

「ピクセルの順序」:「インターリーブ (RGBRGB)」

「バイト順序」: IBM PC または Macintosh

「画像ピラミッドを保存」: チェックを外す

※画像圧縮は、LZW 形式を選択すれば、データ容量の節約になります。

※バイト順序については、使用している PC の環境に応じて適宜選択してください。

※ TIFF 形式の場合、保存オプションはカラー画像とモノクロ 2 値画像で変化はありません。



☆保存時のオプション (PDF/X-4 入稿)

画像データの保存形式には、Photoshop のネイティブ形式 (psd) をお勧めしますが、従来の EPS・TIFF 形式も使用可能です。

レイアウトソフトに InDesign をご使用の場合で、PDF/X-4 形式で入稿される場合には、レイヤーを保持したまま PDF の書き出しが可能です。

また、RGB データを入稿される場合には、PDF/X-4 形式で入稿してください。(入稿データの作成については、PDF/X-4 形式の項を参照してください)

レイアウトデータの作成には、Adobe 社の Illustrator CC・InDesign CC を推奨します。これ以前のバージョンまたは、別のアプリケーションソフトにて作成された場合には、入稿の際に担当者へご連絡をお願いします。

●データサイズ

原稿データサイズは、「原稿サイズ表」を参照し、ドキュメントサイズは、各アプリケーションで適切に設定してください。（余白の設定方法により、データの作成方法が異なります）

☆余白を含めたデータを作成する場合

アートボード (Illustrator) または ページサイズ (InDesign) のサイズを、目的とする原稿サイズに一致させます。

通常、新聞の場合には、上下左右均等に余白を取るのが一般的ですが、タブロイド版などでノドと小口の空き量を変更したい場合などは、右面と左面でそれぞれ適切な台紙を作成してください。

☆余白を含めないデータを作成する場合

アートボード (Illustrator) または ページサイズ (InDesign) のサイズは、印刷可能サイズ以内でお客様が設定を行ってください。

弊社にて印刷データを作成する（面付けする）際に、余白を設定します。

すべてのオブジェクトがアートボードまたはページサイズからはみ出さないように配置してください。

●線の設定

☆塗りと線の指定

2つのアンカーポイント間を結ぶ線（パス）に、塗りのみを設定して線幅を指定しないと、モニタでの表示上は適切に設定されているように見えますが、印刷時に反映されませんので、注意してください。線は、線の設定で色を指定してください。

また、この時塗りがグラデーションで指定されていると、出力エラーとなります。

☆罫線の設定

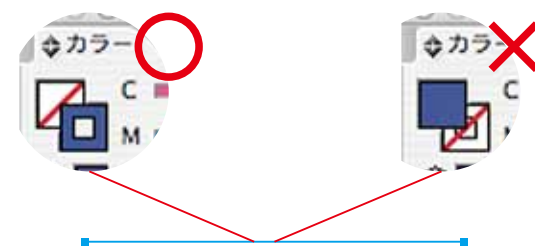
余白を設定せずにデータサイズを指定する場合には、罫線の「線の位置」を「線を内側に揃える」設定として、罫線の外側のサイズとアートボードまたはページサイズと完全に一致するように設定します。Illustrator CS2 以前を使用する場合には、「線の位置」の機能がありませんので、罫線のアウトラインを「パスのアウトライン」機能で作成



Illustrator でのドキュメント設定
サイズとカラーモードを適切に設定する



InDesign でのドキュメント設定
サイズを適切に設定し、裁ち落としは設定しない

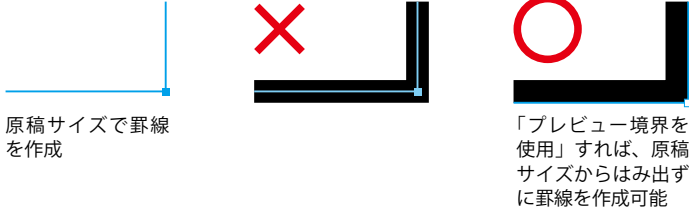


Illustrator の「環境設定」で「プレビュー境界を使用」にチェックを入れると、線幅も含めた正確なオブジェクトサイズを確認できる

し、アウトラインの外側を一致させます。

罫線がアートボードまたはページサイズからはみ出した場合、罫線の一部または全てが正常に印刷されない場合があります。

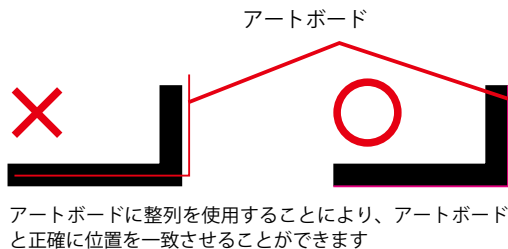
罫線の作成例



Illustratorの「整列」パレットのオプションメニューで「プレビュー境界を使用」にチェックを入れて整列しても同様の結果となります。

アートボードへの整列

「アートボードに整列」機能を使用することで、アートボードと罫線の外周を一致させることができます。



Illustratorの「整列」パレットのオプションメニューで「アートボードに整列」にチェックを入れ、整列を実施することで、罫線の外周をアートボードの外周と一致させることができます。

●色の指定とオーバープリント設定

☆色の指定

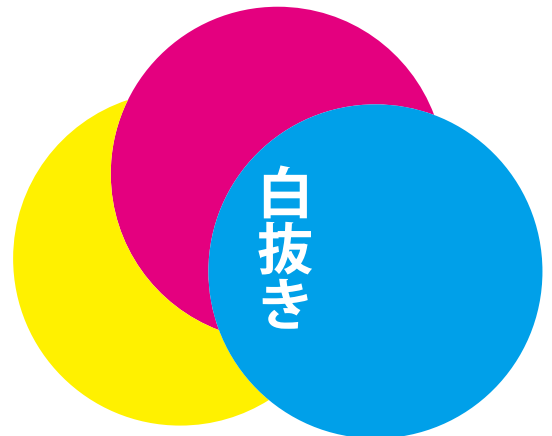
色の指定は、カラー原稿の場合には、通常 CMYK、モノクロ原稿の場合にはグレースケールのカラーモデルを使用します。RGB での指定は、基本的に行わないでください。

CMYK で指定する場合は、新聞輪転機でのトラッピングを考慮して4色のインキの総使用量が260%を超えないように設定します。また、色の掛けあわせの指定を行う場合は、墨版が90%を超えないようにします。

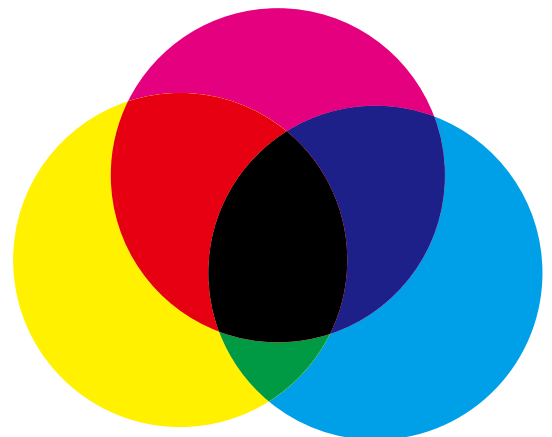
PDF/X-4 形式で入稿される場合には、RGB データを使用する事も可能ですが、イラスト・レイアウトデータについては、彩度が高すぎる場合などには、色味が変化する場合がありますので、イラストデータの作成では、CMYK モードでの作成を強くお勧めいたします。

☆オーバープリントの設定

カラー上へ墨100%のオブジェクトを配置する場合、オーバープリントの設定を行ってください。墨100%以外のオーバープリントは、画面上で確認できず、意図しない結果を起こすことがありますので、注意が必要です。また、カラー上の白抜き文字にオーバープリントを設定するなど必要のないオブジェクトにオーバープリントを設定した場合も同様です。



画面上の表示



オーバープリントプレビュー表示

Illustrator・InDesign では「オーバープリントプレビュー」機能を使用することで、出力結果をシミュレートすることができます。

墨オーバープリント

墨 100% の「ノセ」はオーバープリントを行う

●グラデーションの設定

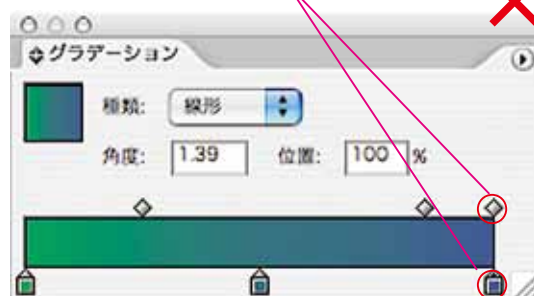
Illustrator でグラデーションを使用する場合は、異なる色が割り当てられている分岐点が、複数同じ位置で重なっている場合、出力エラーの原因となることがあります。分岐点と中間点が同じ位置にある場合には、上記の状態の可能性が高いため、確認・修正を行ってください。

また、孤立点にグラデーション指定があると出力エラーとなりますので、孤立点の削除を確実に行ってください。



通常のグラデーション設定

分岐点と中間点と同じ位置にある場合は、確認が必要



複数の分岐点がぴったり重なっていると、問題が発生する場合があります

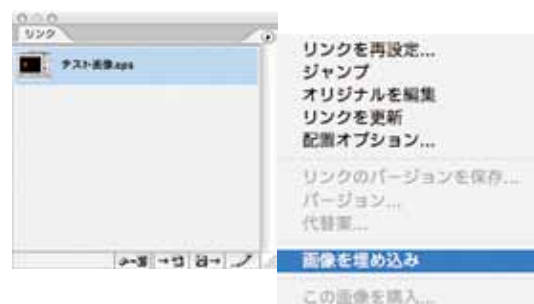
●フォント

弊社の推奨する入稿データ形式は、PDF です。PDF 形式以外で入稿される場合には、使用しているアプリケーション側で保存する前にフォントを全てアウトライン化してください。

●配置済み画像データ

EPS 形式・ネイティブ形式で入稿される場合は、完成データとする前に必ず全ての画像を埋め込んでください。(特に Illustrator CS2 をご使用で PSD・EPS 形式のデータを埋め込まずにリンク扱いとすると画像が分割され、不要な白線が画像内に入る事があります)

なお、PDF/X-4 形式で入稿される場合には、画像データは埋め込まずに、「リンク」設定としてください。(PDF 書き出し時に埋め込み処理が行われます)



●透明・効果

「透明」「効果」を使用する場合には、「効果」メニューより「ドキュメントのラスターライズ効果設定」で「解像度」の項目を「その他：350ppi」に設定します。

また、「透明」「効果」を使用される場合には、PDF/X-4 形式での入稿をお勧めします。



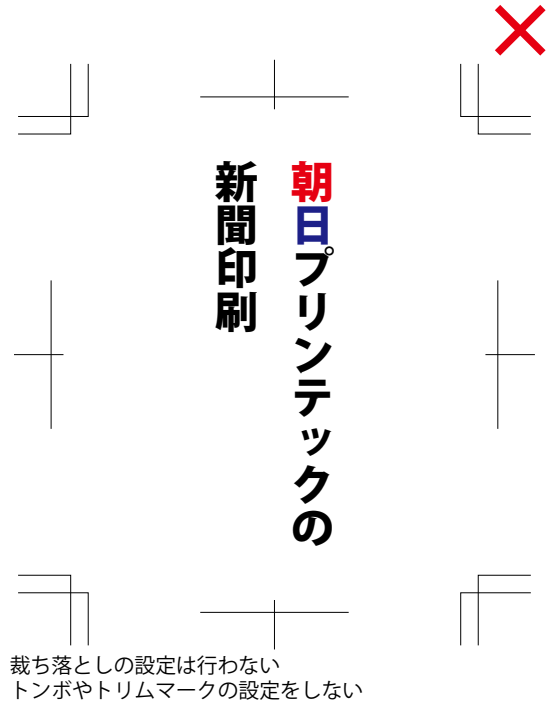
●トンボの指定

新聞印刷では、基本的に印刷後の後加工処理を行いません。通常のデータを作成する際には、トンボを付加しないようお願いします。

罫線などがない場合も、ガイドラインを使用した上で、入稿サイズを全てのファイルで一致するよう制作してください。

Illustrator や InDesign では、裁ち落としの設定は行わないように注意してください。

なお、パノラマデータの作成や断裁加工を実施する場合は、トンボ・裁ち落としの設定が必要な場合があります。別途、弊社営業担当者までご相談ください。



●イラストデータの保存形式

☆ EPS・PDF/X-1a 入稿

Illustrator・InDesign に配置するイラストデータの保存形式には、EPS 形式を使用してください。また、レイヤーは統合して 1 枚のレイヤーとし、カラープロファイルは、埋め込まないでください。

☆ PDF/X-4 入稿

保存形式は、Illustrator ネイティブ形式 (ai) をお勧めします。レイアウトソフトに Illustrator または InDesign を使用する場合には、レイヤーを保持できます。

イラストデータに「透明」「効果」を使用される場合には、PDF/X-4 形式での入稿をお勧めいたします。

● PDF/X-1a 形式での保存の準備

CMYK データの入稿では、弊社は PDF/X-1a 形式での入稿を推奨します。弊社 Web サイトにて、データ作成用の「Adobe PDF プリセット」および PDF データ検証用の「プリフライトプロファイル」をダウンロードできますので、活用してください。

朝日プリンテック Web サイト

<http://www.asahi-pt.co.jp/>

「朝日プリンテック」→「印刷サービス」→「入稿データ」より、AP_PDF/X-1a.zip をダウンロードしてください。

☆インストール方法

ダウンロードした zip ファイルを解凍してください。解凍先のフォルダには、以下の3つのファイルが入っています。

- AP_PDF_X-1a_ プリセット .joboptions
(PDF データ作成用 Adobe PDF プリセット)
- AP_PDF_X-1a_Mono_2012.kfp
(モノクロ原稿用プリフライトプロファイル)
- AP_PDF_X-1a_Color_2012.kfp
(カラー原稿用プリフライトプロファイル)

● Illustrator への「Adobe PDF プリセット」のインストール方法

メニューから「編集」→「Adobe PDF プリセット」を選択し、「読み込み」をクリックしてダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-1a_ プリセット .joboptions」を読み込みます。

● InDesign への「Adobe PDF プリセット」のインストール方法

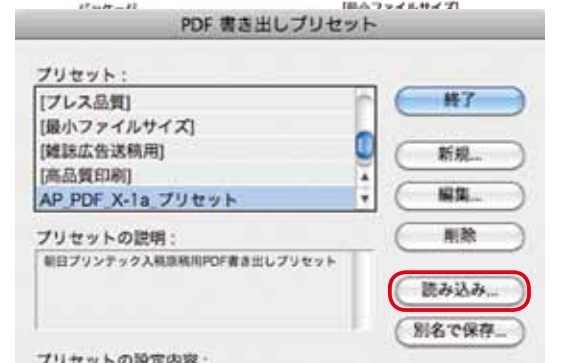
メニューから「ファイル」→「Adobe PDF プリセット」→「定義」を選択し、「読み込み」をクリックしてダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-1a_ プリセット .joboptions」を読み込みます。

※「Adobe PDF プリセット」は、Illustrator・InDesign どちらかでインストールを行えば、Adobe 製品で共用できます。

Illustrator への
インストール



InDesign への
インストール



- Adobe Acrobat への「プリフライトプロファイル」のインストール方法
Adobe Acrobat Standard 版は使用できません。

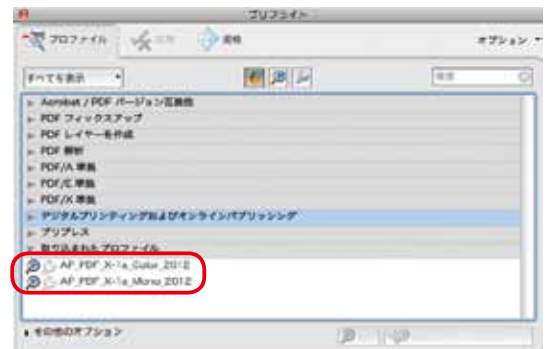
< ver.9 >

メニューから「アドバンスト」→「プリフライト」を選択し、「オプション」から「プリフライトを取り込み」を選択します。

< Ver.X >

「編集」→「ツール」→「印刷工程」よりメニューを表示し、「プリフライト」を選択して、「プロファイル」タブをアクティブにし、「オプション」から「プリフライトを取り込み」を選択します。

ダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-1a_Mono_2012.kfp」および「AP_PDF_X-1a_Color_2012.kfp」を読み込みます。読み込んだプロファイルは「取り込まれたプロファイル」の欄に表示されます。



Adobe Acrobat へのプリフライトプロファイルのインストール

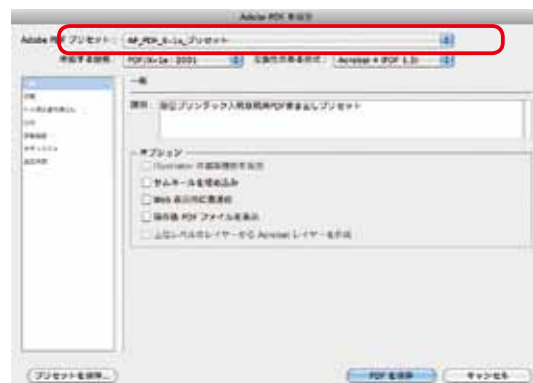
● PDF/X-1a 形式での保存

「PDF/X-1a 形式」の入稿用データを作成するには、弊社が提供する「Adobe PDF プリセット」(⇒ 31 ページ)を使用して、以下のいずれかの手順で行います。

別の手順で作成された入稿用データの場合には、弊社担当者まで、別途ご相談ください。

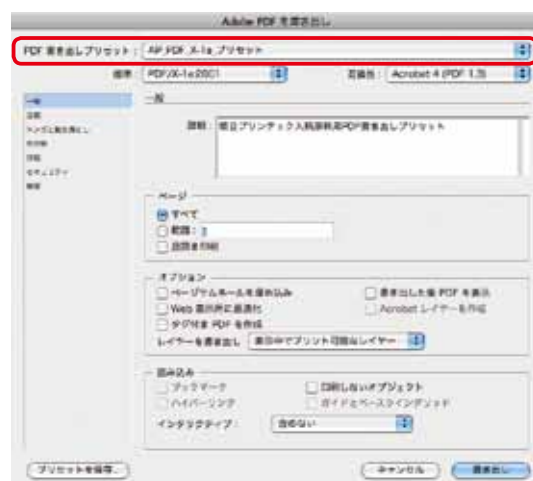
☆ Illustrator からの PDF 保存

1. Illustrator で作成したレイアウトデータを開き、「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択する。
2. 保存の際に「フォーマット：Adobe PDF (PDF)」を選択する。
3. 「Adobe PDF プリセット」に「AP_PDF_X-1a_プリセット」を選択する。
4. PDF オプションの各種設定を変更しないで保存する。



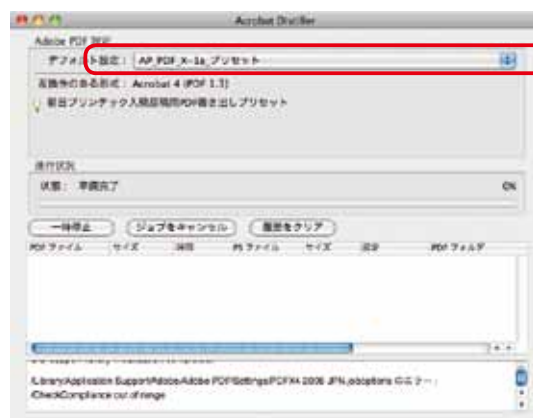
☆ InDesign からの PDF 書き出し

1. InDesign で作成したレイアウトデータを開き、「ファイル」メニューから「書き出し」を選択する。
2. 書き出しの際に「フォーマット：Adobe PDF (PDF)」を選択する。
3. 「PDF 書き出しプリセット」に「AP_PDF_X-1a_プリセット」を選択する。
4. PDF オプションの各種設定を変更しないで保存する。



☆ Adobe Acrobat Distiller からの PDF 変換

1. レイアウトデータを準備する
2. Distiller を開き、「デフォルト設定」で「AP_PDF_X-1a_プリセット」を選択する。
3. レイアウトデータをアプリケーションウィンドにドラッグするか、「ファイル」 - 「開く」でレイアウトデータを指定し、PDF ファイルに変換する。

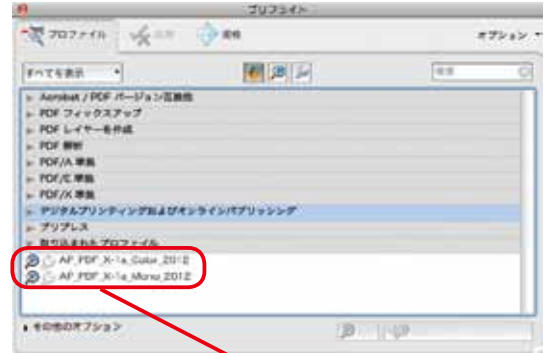


● PDF/X-1a 形式の入稿用データ検証

「PDF/X-1a」形式での入稿前には、Adobe Acrobat の「プリフライト」機能を使用して、データの検証を行います。

☆入稿用 PDF のプリフライト

1. 「編集」－「ツール」－「印刷工程」より、メニューを表示し、「プリフライト」を選択 (ver.X) または「アドバンスド」－「プリフライト」(Ver.9) を選択する。
2. 「プロファイル」タブをアクティブにし、カラー原稿の場合は「AP_PDF_X-1a_Color_2012」、モノクロ原稿の場合は「AP_PDF_X-1a_Mono_2012」を選択する。
3. 「解析」をクリックして検証を行う。

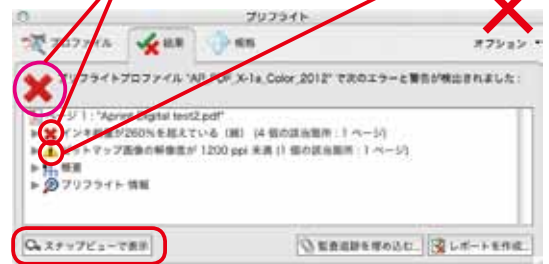


データに応じていずれかのプロファイルを選択

☆検証結果

- ・エラーが検出された場合
不具合のある箇所を確認し、元のデータを修正します。
- ・警告が検出された場合
警告が表示された場合は、データの再確認を行い、入稿上問題がなければ、そのまま入稿してください。問題があるかどうかは、この冊子を確認して頂くか、弊社担当者までご相談ください。
- ・情報が検出された場合
念のため、内容を確認して頂き、問題がなければそのまま入稿してください。
- ・何も検出されなかった場合
適正データですので、そのまま入稿してください。

エラーが検出された場合は、内容を確認して元データを修正する
警告が検出された場合は、内容を確認して上で、元データの修正が必要かどうか判断する



項目を選択して、「スナップビューで表示」を選択すれば、その箇所を確認できる場合がある



確認が必要な項目が検出された場合には、内容を確認して問題あれば修正する



エラーや警告が検出されなかった場合は、そのまま入稿する

「PDF/X-1a」形式の入稿用データは、Adobe Acrobat Pro を使用してプリフライトチェックで問題となった項目をシミュレートして確認できる機能が有ります。データ修正の際に活用してください。

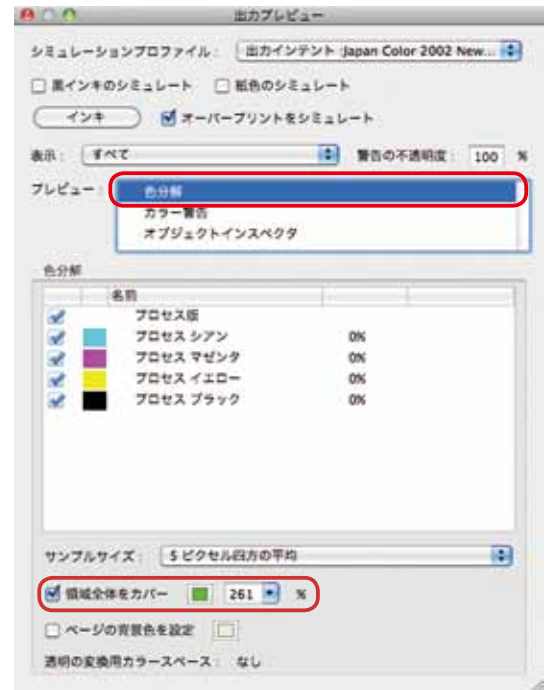
☆インキ総使用量 (UCR) の確認

インキの総使用量が 260% を超えている箇所の有無を、以下の方法で検証することができます。

1. 「編集」→「ツール」→「印刷工程」よりメニューを表示し、「出力プレビュー」を選択する。(ver.X)
「アドバンスト」→「印刷工程」→「出力プレビュー」を選択する。(ver.9)
2. 「プレビュー：色分解」を選択し、「領域全体をカバー」にチェックを入れ、「261%」を入力する。

プレビューのウィンドウ内で■色に覆われた箇所は、インキの使用量が 261% を超えているところです。問題がある場合には、データを修正してください。

また、CMYK プロセス 4 色やモノクロ以外の特色を使用している場合にも、この項目で確認可能です。

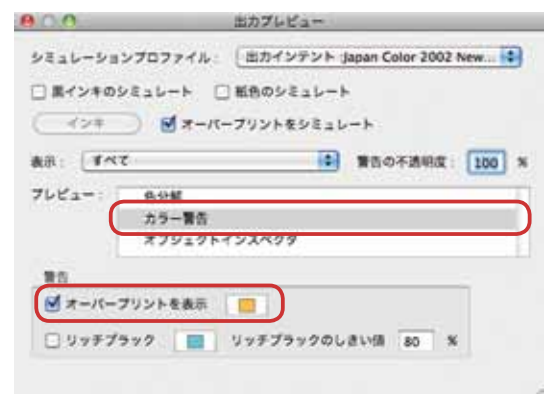


☆オーバープリントの確認

オーバープリントの設定箇所を、以下の方法で確認することができます。設定が適切かどうか確認してください。

1. 「編集」→「ツール」→「印刷工程」よりメニューを表示し、「出力プレビュー」を選択する。(ver.X)
「アドバンスト」→「印刷工程」→「出力プレビュー」を選択する。(ver.9)
2. 「プレビュー：カラー警告」を選択し、「オーバープリントを表示」にチェックを入れる。

プレビューのウィンドウ内で■色に覆われた箇所は、オーバープリントが設定されているところです。墨のオーバープリントが適切か、色網にオーバープリントが適用されていないかどうかを確認し、問題がある場合には、データを修正してください。



● PDF/X-4 形式の特長と注意点

従来の印刷データの入稿では、EPS または PDF/X-1a 形式での入稿が必須でしたが、「RGB データの使用ができない」・「透明機能を使用した場合には、分割処理を行う必要がある」などの制約がありました。

Adobe 社が、PDF/X-4 規格と APPE (Adobe PDF Print Engine) を製品化した事により、上記の制限が緩和されました。

☆ PDFX/1-a と PDF/X-4 の比較

	PDF/X-1a	PDF/X-4
PDF バージョン	PDF1.3	PDF1.6
使用カラー	CMYK または特色のみ	CMYK・特色・ICC ベースのカラースペースなど
フォント	埋め込み	埋め込み
画像	実画像が含まれている	実画像が含まれている
OPI	禁止	禁止
透明	使用不可 (分割される)	使用可能
レイヤー	使用不可	使用可能
Distiller からの書き出し	可能	不可

☆ PDF/X-4 への対応

PDF/X-4 を使用する条件として、作成の際に基本的にはソフトウェアが Adobe CS3 以上であることと、印刷データを作成する RIP が APPE に対応している必要があります。

弊社の RIP は APPE に対応しておりますので、お客様側で PDF/X-4 形式の入稿データを作成して頂ければ、RGB データの入稿、透明機能・レイヤー機能の使用への対応が可能になります。

さらに弊社では、新聞印刷に適した CMYK 変換プロファイルを独自に作成していますので、RIP 時に、より適した CMYK への変換処理を提供する事が可能です。(PC のモニタと同一の色味を保証するものではありません)

☆ PDF/X-4 使用時の注意点

PDF/X-4 データを作成する際は、基本的な注意点としては、EPS・PDF/X-1a データを作成する際と同様です。以下の点が異なりますので、注意してください。

- ・ RGB データ入稿の際には、画像にプロファイルを埋め込んでください。
- ・ 「透明」「効果」「レイヤー」機能を使用した場合には、それぞれのアプリケーションのネイティブ形式 (psd、ai など) の使用を推奨します。
- ・ RIP 処理にて CMYK へ変換されるため、色味が変わる可能性がある。(弊社の色変換プロファイルは、色味の変化を最小限にする事ができます。また、紙プルーフにより事前の色味確認が可能です)

● 朝日プリンテックの PDF/X-4 対応

- ・ APPE 対応 RIP
- ・ PDF プリセットの提供
- ・ プリフライトプロファイルの提供
- ・ 新聞用 RGB → CMYK 変換プロファイル



PDF/X-4 データの制作には、できるだけ各アプリケーションのネイティブデータを使用する

● PDF/X-4 形式での保存の準備

PDF/X-4 形式の PDF ファイル作成には、弊社 Web サイトにて、データ作成用の「Adobe PDF プリセット」および PDF データ検証用の「プリフライトプロファイル」をダウンロードできますので、ご活用ください。

朝日プリンテック Web サイト

<http://www.asahi-pt.co.jp/>

「朝日プリンテック」→「印刷サービス」→「入稿データ」より、AP_PDF/X-4.zip をダウンロードしてください。

☆インストール方法

ダウンロードした zip ファイルを解凍してください。解凍先のフォルダには、以下の3つのファイルが入っています。

- AP_PDF_X-4_プリセット.joboptions
(PDF データ作成用 Adobe PDF プリセット)
- AP_PDF_X-4_Mono_2012.kfp
(モノクロ原稿用プリフライトプロファイル)
- AP_PDF_X-4_Color_2012.kfp
(カラー原稿用プリフライトプロファイル)

● Illustrator への「Adobe PDF プリセット」のインストール方法

メニューから「編集」→「Adobe PDF プリセット」を選択し、「読み込み」をクリックしてダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-1a_プリセット.joboptions」を読み込みます。

● InDesign への「Adobe PDF プリセット」のインストール方法

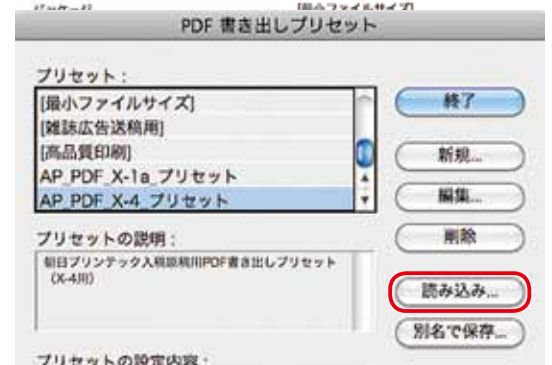
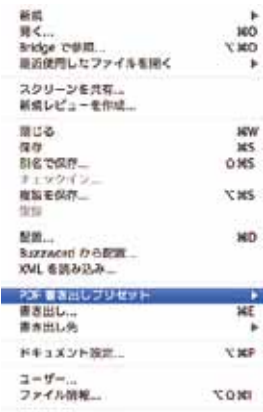
メニューから「ファイル」→「Adobe PDF プリセット」→「定義」を選択し、「読み込み」をクリックしてダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-1a_プリセット.joboptions」を読み込みます。

※「Adobe PDF プリセット」は、Illustrator・InDesign どちらかでインストールを行えば、Adobe 製品で共用できます。

Illustrator への
インストール



InDesign への
インストール



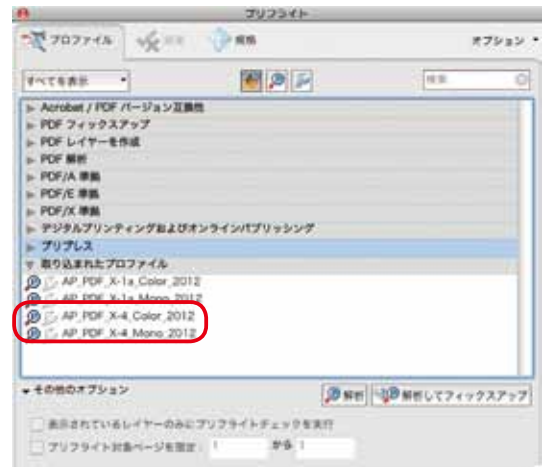
- Adobe Acrobat への「プリフライトプロファイル」のインストール方法
Adobe Acrobat の Standard 版は使用できません。

< ver.9 >

メニューから「アドバンスト」→「プリフライト」を選択し、「オプション」から「プリフライトを取り込み」を選択します。

< Ver.X >

「編集」→「ツール」→「印刷工程」よりメニューを表示し、「プリフライト」を選択して、「プロファイル」タブをアクティブにし、「オプション」から「プリフライトを取り込み」を選択します。



Adobe Acrobat へのプリフライトプロファイルのインストール

ダウンロードしたファイル「AP_PDF_X-4_Mono_2012.kfp」および「AP_PDF_X-4_Color_2012.kfp」を読み込みます。読み込んだプロファイルは「取り込まれたプロファイル」の欄に表示されます。

CS2 での RGB データ入稿

PDF/X-4 データの作成は、Adobe Illustrator CS3 以上・Adobe InDesign CS3 以上の使用が前提となりますが、お持ちでないお客様でも、CS2 であれば PDF/X-3 形式を使用することで RGB データの入稿が可能です。（PDF/X-4 作成が可能な環境のお客様は、PDF/X-4 形式での入稿をお勧めします）

弊社では、CS2 を使用してデータを作成するお客様のために PDF/X-3 用の PDF プリセットとプリフライトプロファイルをご用意しております。ダウンロード方法・インストール方法・書き出し・プリフライトは、PDF/X1-a・PDF/X-4 と同様ですので、各項目を参照してください。

● PDF/X-3 形式

- ・ RGB データの使用が可能
(RGB → CMYK の変換は、弊社の RIP 上で行われます)
- ・ その他については、PDF/X1-a 形式と同様（「透明」・「効果」・「レイヤー」は使用できない）
- ・ Distiller からの書き出しが可能

● PDF/X-3 形式入稿上の注意点

- ・ RGB データには、必ずプロファイルを埋め込んでください。
- ・ RGB → CMYK の色変換時に色味が変化することがあります。
- ・ 透明を使用する場合には、保存時に分割処理が行われます。
- ・ その他の注意点については、PDF/X-1a 使用時と同様です。

● 提供するファイル（モノクロ原稿の入稿には、X-1a 用をご使用ください）

AP_PDF/X-3.zip
(内容)

- ・ AP_PDF_X-3_プリセット.joboptions
(PDF データ作成用 Adobe PDF プリセット)
- ・ AP_PDF_X-3_Color_2012.kfp
(カラー原稿用プリフライトプロファイル)

● PDF/X-4 形式での保存

「PDF/X-4 形式」の入稿用データを作成するには、弊社が提供する「Adobe PDF プリセット」(⇒ 31 ページ)を使用して、以下のいずれかの手順で行います。

別の手順で作成された入稿用データの場合には、弊社担当者まで、別途ご相談ください。

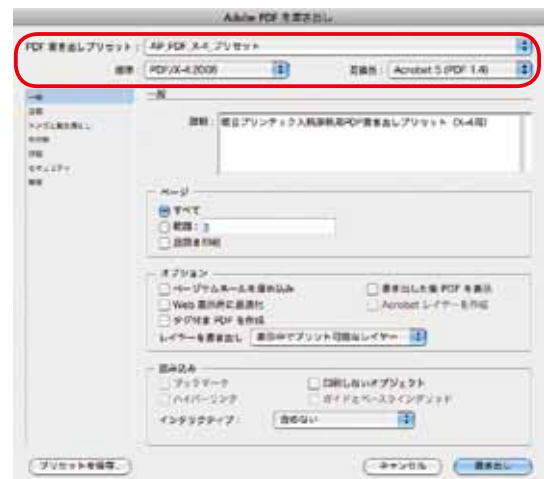
☆ Illustrator からの PDF 保存

1. Illustrator で作成したレイアウトデータを開き、「ファイル」メニューから「別名で保存」を選択する。
2. 保存の際に「フォーマット：Adobe PDF (PDF)」を選択する。
3. 「Adobe PDF プリセット」に「AP_PDF_X-4_プリセット」を選択する。
4. PDF オプションの各種設定を変更しないで保存する。



☆ InDesign からの PDF 書き出し

1. InDesign で作成したレイアウトデータを開き、「ファイル」メニューから「書き出し」を選択する。
2. 書き出しの際に「フォーマット：Adobe PDF (PDF)」を選択する。
3. 「PDF 書き出しプリセット」一覧から「AP_PDF_X-4_プリセット」を選択する。
4. PDF オプションの各種設定を変更しないで保存する。



※ PDF/X-4 形式を入稿する場合のレイアウトデータ作成時の注意点

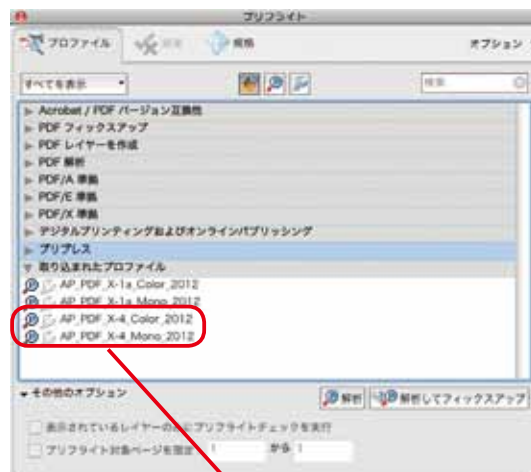
Illustrator・InDesign を使用してレイアウトデータを作成する際には、配置した画像の埋め込み処理は行わずに、リンク状態を保持したまま、PDF/X-4 への書き出し処理を行ってください。

● PDF/X-4 形式の入稿用データ検証

「PDF/X-4」形式での入稿前には、Adobe Acrobat の「プリフライト」機能を使用して、データの検証を行います。

☆入稿用 PDF のプリフライト

1. 「編集」－「ツール」－「印刷工程」より、メニューを表示し、「プリフライト」を選択 (ver.X) または「アドバンスド」－「プリフライト」(Ver.9) を選択する。
2. 「プロファイル」タブをアクティブにし、カラー原稿の場合は「AP_PDF_X-4_Color_2012」、モノクロ原稿の場合は「AP_PDF_X-4_Mono_2012」を選択する。
3. 「解析」をクリックして検証を行う。



データに応じていずれかのプロファイルを選択

☆検証結果

検証結果の見方は、PDF/X-1a 形式の場合と同様です。解析内容でエラーがある場合には、元のデータを修正してください。(⇒ 33 頁)

※なお、弊社では、PDF/X1-a 形式・PDF/X-3 形式・PDF/X-4 形式いずれの場合も、PDF データのデータ修正は行っておりません。入稿データに問題がある場合には、お客様にてデータの修正を行って頂く事になりますので、予めご了承ください。

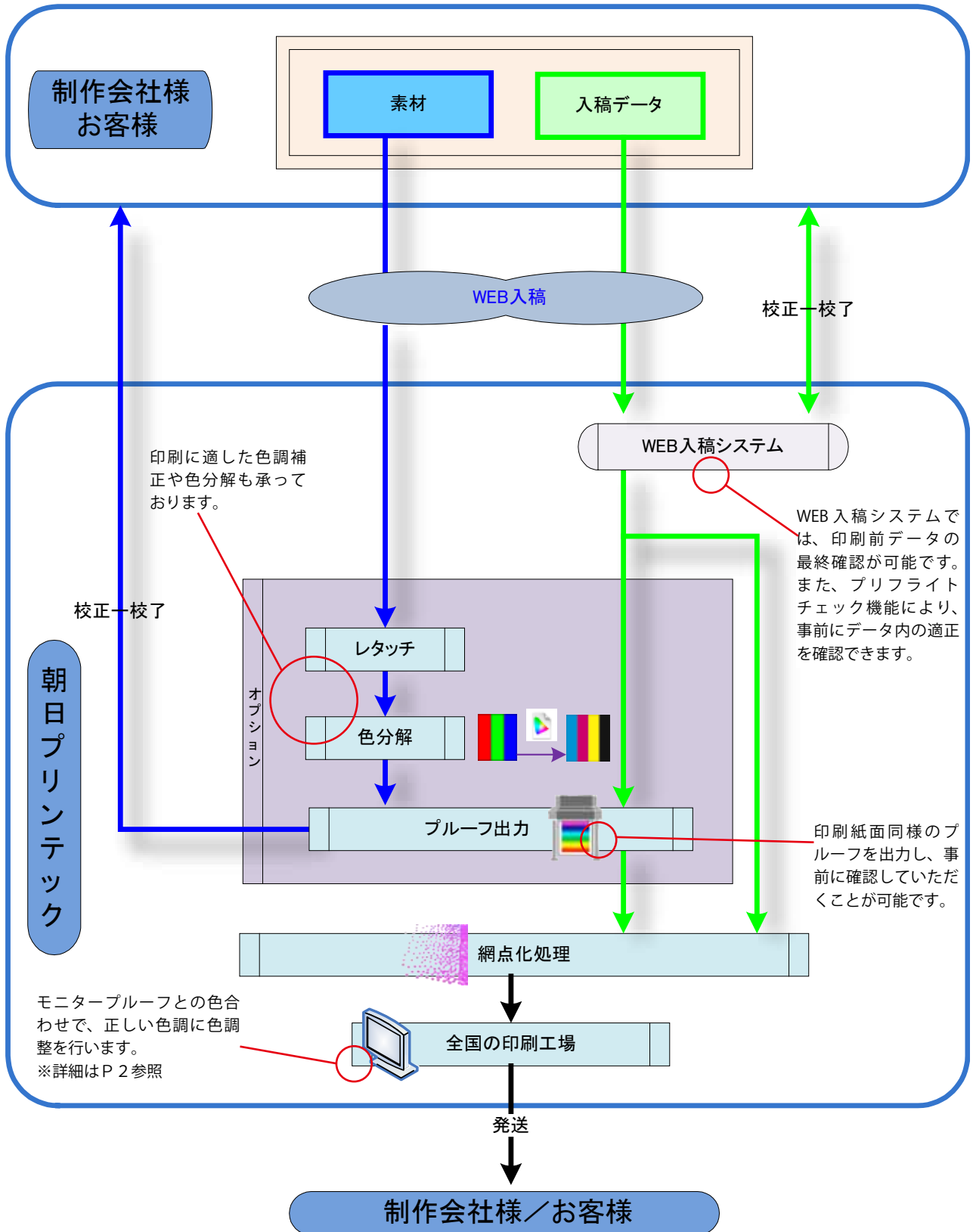
日本新聞広告製版会

RGB データから新聞印刷用の CMYK データへの変換を行う、専門の製版会社があります。データ入稿に不安のあるお客様は、下記連絡先へご連絡ください。また、朝日プリンテックでは、直接、製版会社の紹介も行っています。

日本新聞広告製版会 事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 5-8-13
TEL 03-3431-4071
FAX 03-3436-6024
URL <http://www.seihankai.jp>

入稿におけるワークフロー

朝日プリンテックでは、お客様の素材やレイアウトデータを、迅速かつ安全に入稿頂けるよう、様々な入稿形態を取り揃え、印刷前の確認フローも万全にしております。



Web 入稿システム

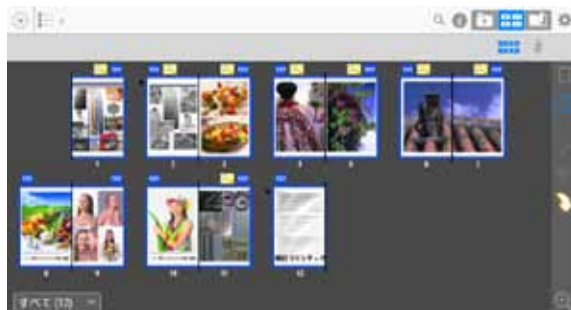
入稿システムには、安定性で定評のある Agfa 社製の ApogeeCloud を導入しております。

入稿から校正、校了承認までの一連の作業環境を「ジョブ」として管理し、オンライン上で複数の部門の作業やグループで作業が進められます。それにより、入稿データの安全性はもとより、24 時間スムーズなデータの受け渡しが可能となります。

入稿（データのアップロード）

データの入稿は、汎用ブラウザを使用して作業を行うため、DTP 環境で使用する OS より直接アップロードが可能です。アップロードされたファイルは、ファイル名により所定の面数に自動割り当てされます。

※入稿時のファイルはウイルスチェックをお願いします。



プレビュー・校正・承認

入稿したデータは、実際の印刷で使用している RIP と同等の処理が行なわれ、処理が終了したものからプレビュー、プリフライトチェック結果の確認や、確認用 PDF のダウンロード、面付後の紙面イメージ表示も可能です。

プレビュー画面では、全体の進行状況の他に、分版表示、見開きの確認、注釈等の記載ができます。

プレビューまでの処理には、入稿データに対するプリフライトチェックも含まれており、エラー箇所を印刷前段階で早期発見することが可能です。頁単位のプリフライトチェックは、主に文字や埋め込み画像に対して行われ、総インキ量のチェック等も可能です。



入稿アプリケーションの推奨動作環境

推奨動作環境は次のとおりです。

項目	Windows	Macintosh
OS	Windows 8.1 ~	MacOS X (10.13 High Sierra) ~
ブラウザ	Internet Explorer (バージョン 11 のみ) Edge Google Chrome Safari Firefox	Edge Safari Google Chrome Firefox (バージョン 33 まで)

ご利用にあたり

ご使用頂くにあたり、お客様のアカウントや台紙の登録が必要となります。事前に弊社営業担当者までご相談頂きますよう、お願い致します。

●新聞用紙サイズ

新聞用紙の規格サイズは、以下の通りです。

	天地方向	左右方向
ブランケット	546mm/541mm (※)	約 406mm
2 連版 (見開き)	546mm/541mm (※)	約 813mm
タブロイド	約 406mm	約 273mm
パノラマ	546mm	1,626mm
パノラマ 6	546mm	約 1,219mm

※一部工場

●原稿データサイズと面付け

各用紙サイズに対する原稿のサイズは、以下の通りです。

(次頁以降の図を参照してください)

	天地方向	左右方向
ブランケット	521mm	385mm
2 連版 (見開き)	521mm	790mm
タブロイド	385mm	245mm
パノラマ	521mm	1,600mm
パノラマ 6	521mm	1,193mm

●用紙品種

下記の用紙一覧は、弊社での使用実績がある用紙です。同じカテゴリの品種でもメーカーによって差異があります。使用する用紙については、お客様のご要望に応じますので、弊社・営業担当者までご連絡ください。

用紙品種	概要
更紙	通常の新聞用紙 (古紙配合)
特高白紙	厚みや白色度を少しアップした用紙
高白紙	白色度が 70% 前後の用紙
プレミアム紙	白色度が 80% 前後の用紙
AEG紙	ノンドライヤー用マット調光沢用紙

●折り仕様

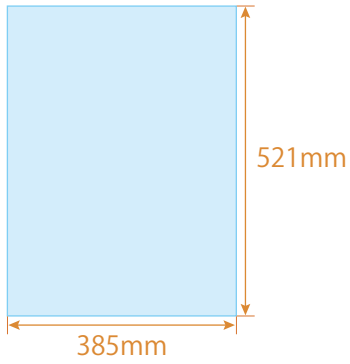
新聞の折り仕様は、以下の通りです。ブランケット判とタブロイド判を組み合わせることも可能ですので、弊社・営業担当者までご相談ください。

建て頁	ブランケット判	2 頁～ 40 頁 (最大 16 個面カラー)
	タブロイド判	4 頁～ 80 頁 (最大 32 個面カラー)
特殊印刷時建て頁 (セクション折り)	ブランケット判	2 頁～ 16 頁程度 (本紙側の頁数によります)
	タブロイド判	4 頁～ 16 頁程度 (本紙側の頁数によります)

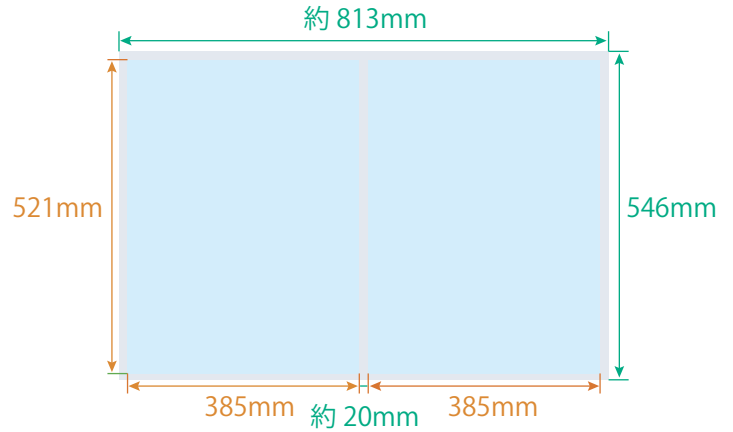
ブランケット判（通常の紙面サイズ）の原稿サイズ

● 1 頁サイズ

データサイズ

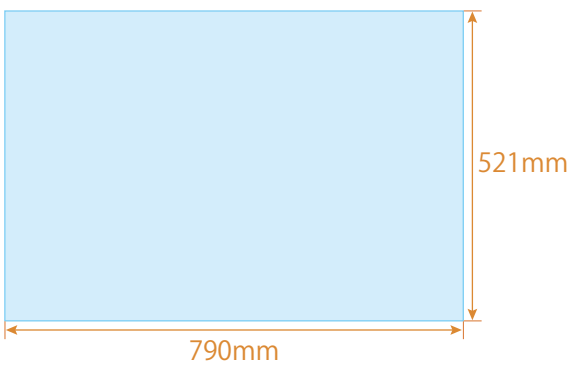


掲載時のサイズ

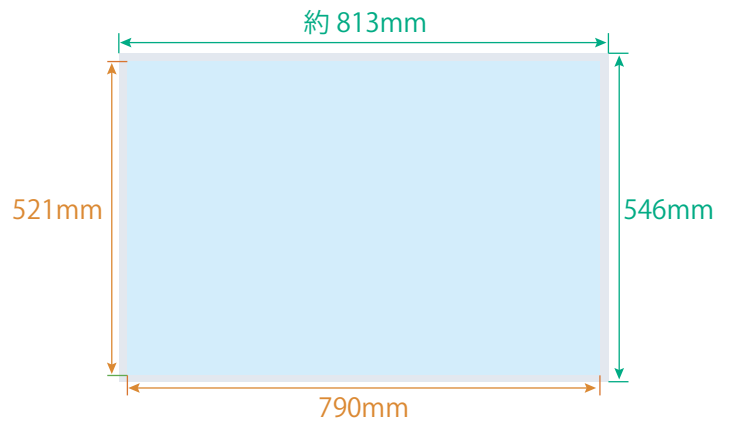


● 2 連版（見開き）・2 頁サイズ

データサイズ



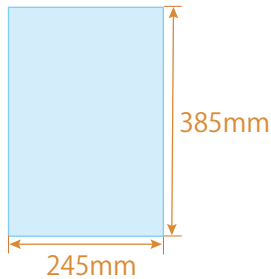
掲載時のサイズ



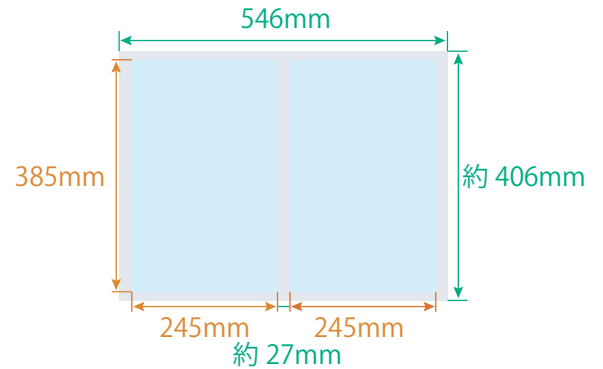
タブロイド判原稿サイズ

● 1 頁サイズ

データサイズ

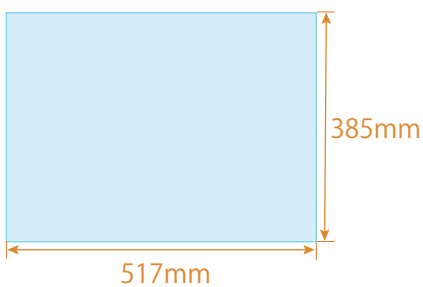


掲載時のサイズ

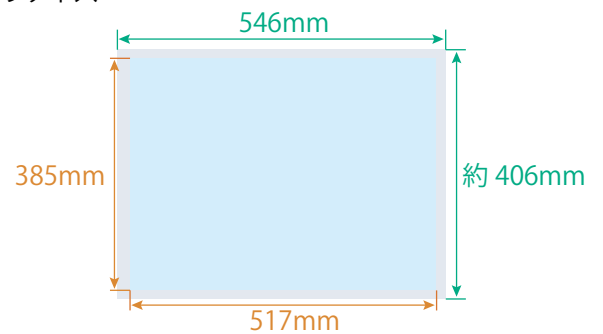


● 2 連版 (見開き) ・ 2 頁サイズ

データサイズ

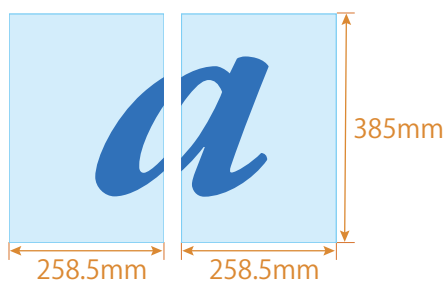


掲載時のサイズ



●隣接面間で図柄がまたぐ場合 (またぎ面)

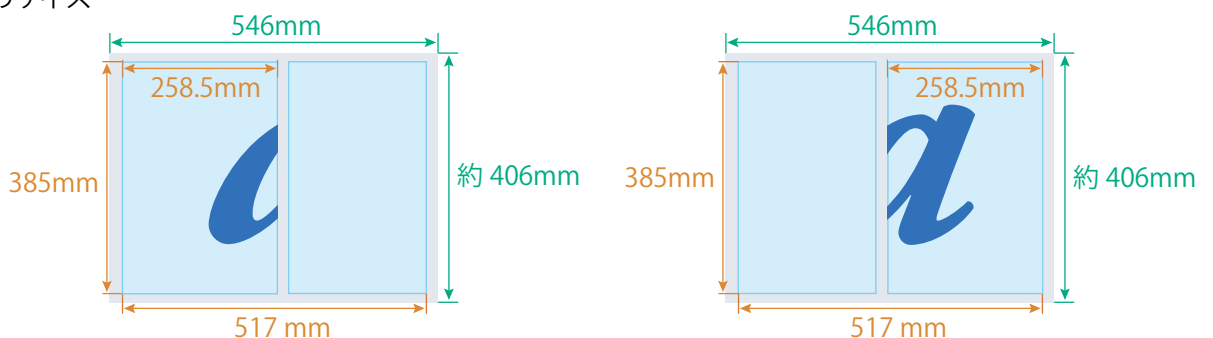
データサイズ



仕上がりイメージ

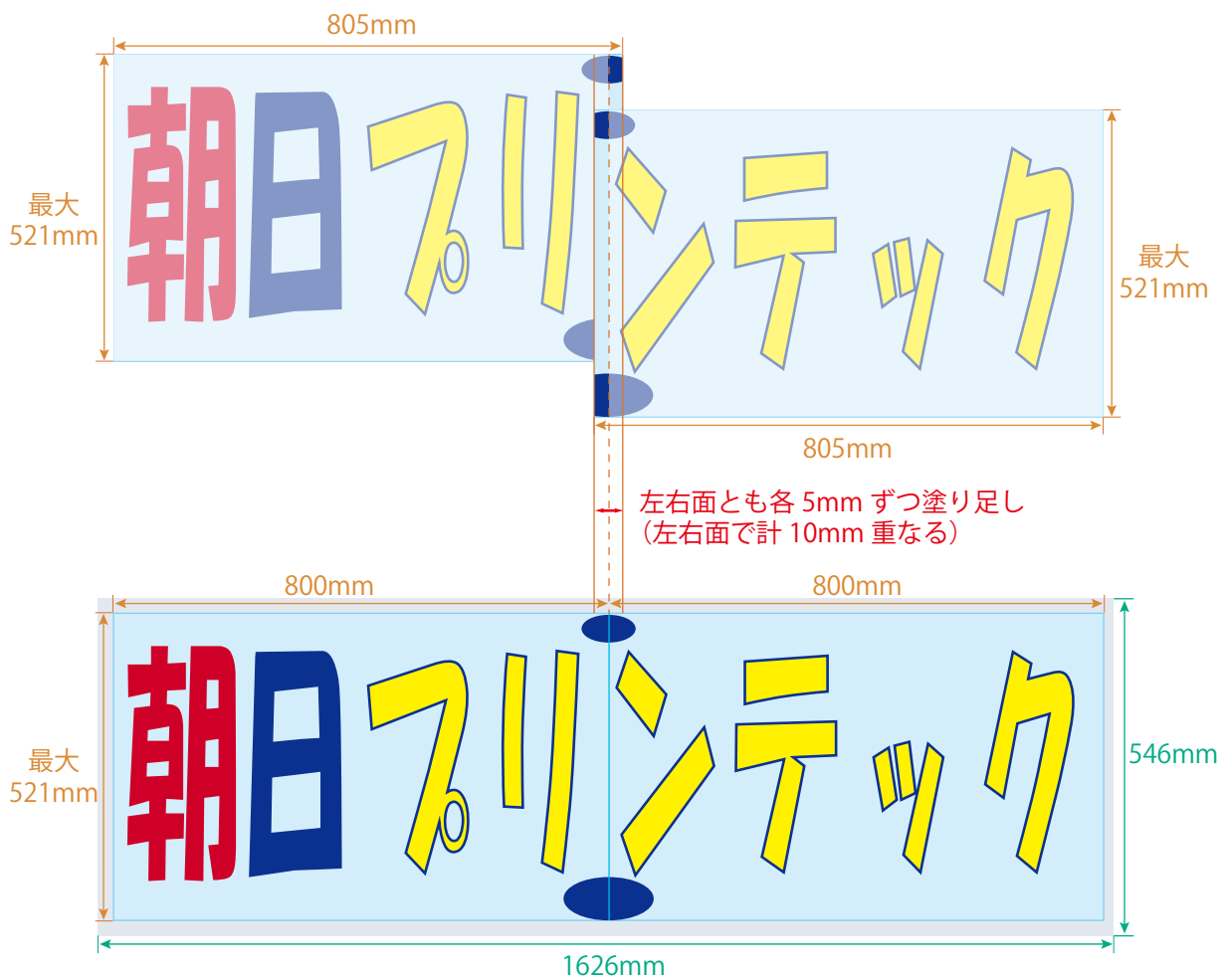


掲載時のサイズ



パノラマワイド (8頁) 原稿サイズ

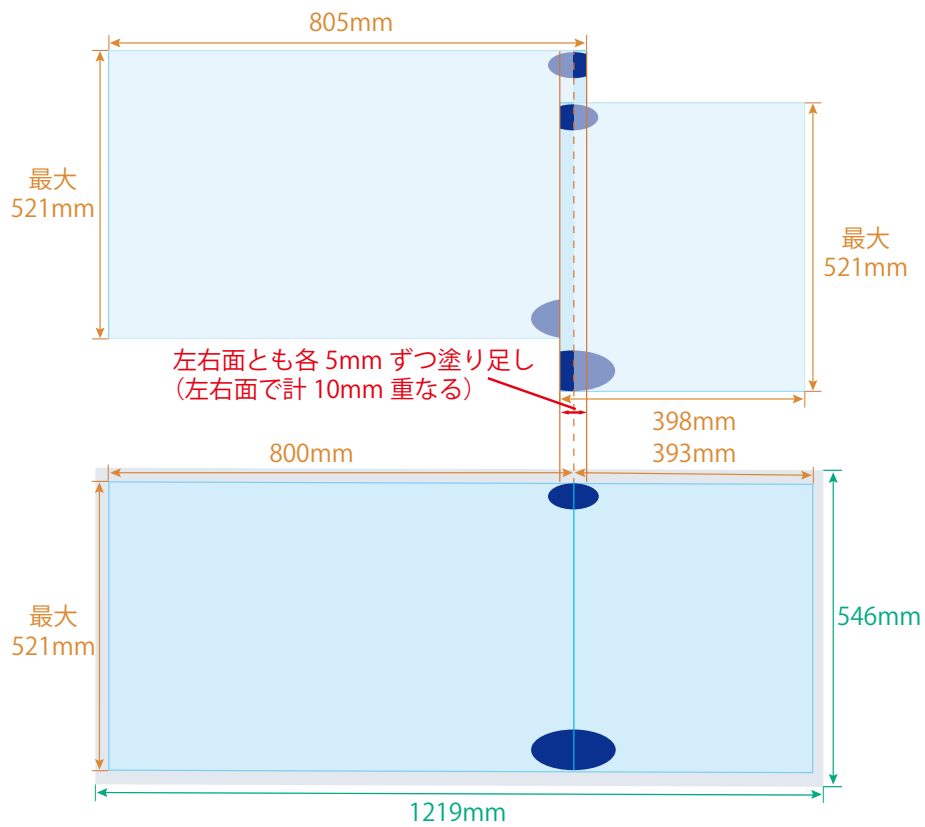
※パノラマの原稿サイズは、図柄によって適正サイズが異なりますのでご相談ください



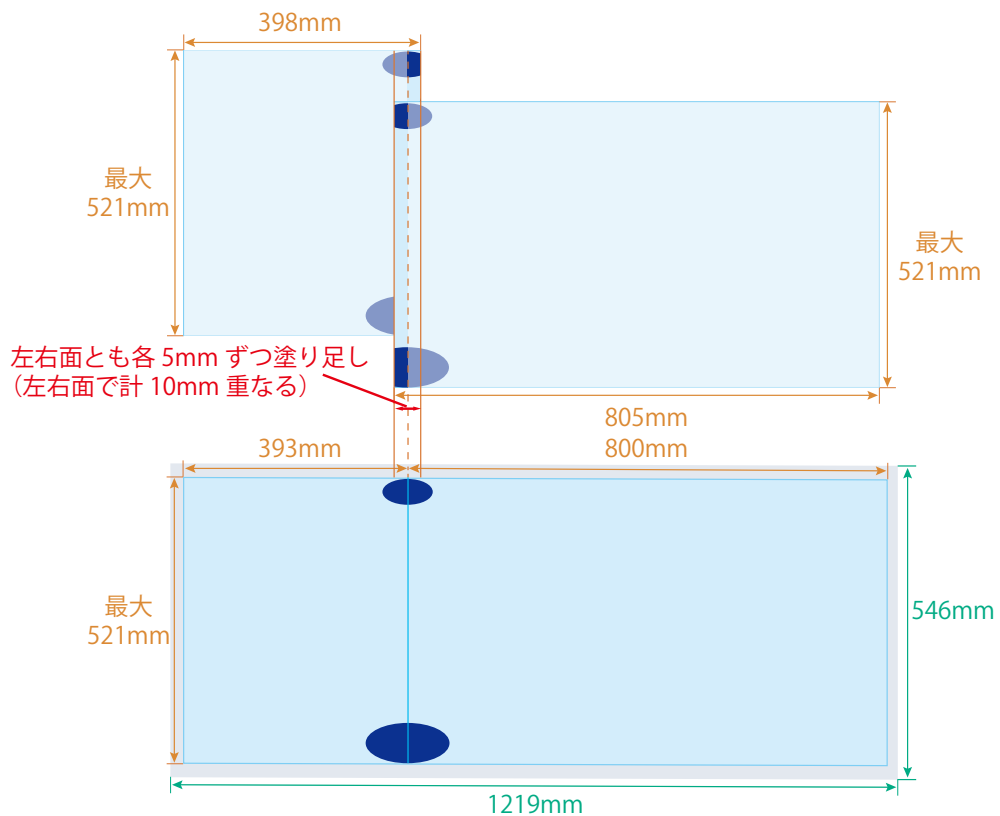
パノラマ6（6頁分）原稿サイズ

※パノラマの原稿サイズは、図柄によって適正サイズが異なりますのでご相談ください

●Lタイプ



●Rタイプ



Mac、Macintosh、MacOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe, the Adobe logo, Acrobat, Illustrator, InDesign and Photoshop are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

その他記載されているブランド名・製品名は、個々の所有者の商標、もしくは登録商標です。

<この冊子について>

- この冊子の内容の無断転載を禁じます。

<朝日プリンテックデータ入稿マニュアルについて>

- このマニュアルの内容の無断転載を禁じます。このマニュアルの仕様は変更される場合があります。
- このマニュアルに規定されていない設定をお使いの場合は、事前に朝日プリンテック担当者までお問い合わせください。

制作：朝日プリンテック 海老江センター

